

TOPICS
2

トピックス…②

平成28年度畜産・酪農関係
予算概算要求のポイント

農林水産省は8月31日、平成28年度農林水産関係予算の概算要求を発表した。総額は27年度当初予算比14.8%増の2兆6,497億円、畜産・酪農関係については総額2,335億円で、大幅増額した27年度当初予算を238億円上回る規模となっている。

農林水産省では、農家戸数、飼養頭数の減少といった畜産・酪農における生産基盤の弱体化が懸念される中、酪肉近代化基本方針等を踏まえ、①収益性向上や生産基盤の維持・拡大のための競争力向上、②輸入飼料依存から脱却するための自給飼料生産拡大、③経営安定のためのセーフティネットの「3つの柱」を重点的に実施することとし、そのために必要な予算を要求したとしている。

一つ目の畜産・酪農の競争力向上策（表①参照）では、収益性向上や生産基盤の維持・拡大のため、高収益畜産への転換、生産性の向上、畜産環境問題への対策を進めることにより、競争力の向上を図る。主な事業は、予算要求額350億円の「畜産収益力強化対策」で、畜産クラスター計画に位置付けられた地域の中心的经营体（畜産農家、新規参入者、飼料生産組織）が行う収益性向上、畜産環境問題への対応に必要な機械のリース整備、施設整備、家畜の導入を支援する。また、予算要求額20億円の「畜産・酪農生産力強化対策事業」では、和牛の生産拡大と生乳供給力の向上に資する和牛受精卵移植・性別別精液の活用や関係機器の整備、肉用牛の繁殖向上のための新たな取組（発情発見装置の導入等）を支援する。

表① 畜産・酪農の競争力向上	
畜産・酪農の成長産業化	
◎畜産競争力強化対策	354億円
○高収益型畜産体制構築事業	1億円
○畜産収益力強化対策	350億円
○国産畜産物の新たな市場獲得のための技術開発促進事業【新規】	3億円
◎強い農業づくり交付金（食肉等再編優先枠）	35億円
◎事業性評価融資推進事業【新規】	10億円の内数
畜産・酪農の生産力強化	
◎畜産・酪農生産力強化対策	26億円
○畜産・酪農生産力強化対策事業	20億円
○和牛・生乳の生産拡大を支える研究開発	6億円
国産畜産物の需要拡大	
○国産畜産物の新たな市場獲得のための技術開発促進事業【新規】（畜産競争力強化対策のメニュー）	3億円
○輸出に取り組む事業者向け対策事業	11億円の内数
○米活用畜産物等ブランド化推進事業【新規】	1億円

二つ目の自給飼料の生産拡大策（表②参照）では、輸入飼料依存から脱却するため、生産性向上のための草地改良、飼料生産組織の機能の高度化、濃厚飼料原料（イアコーン等）の増産、エコフィードの増産等により、国産飼料に立脚した畜産への転換を図る。主な事業は、予算要求額85億円の「草地関連基盤整備事業」

で、農地集積の加速化、農業の高付加価値化のための大型機械体系に対応した効率的な飼料生産基盤の整備を支援する。また、予算要求額70億円の「飼料生産型酪農経営支援事業」では、環境負荷軽減に取り組みつつ、飼料の二期作・二毛作等を行う酪農家や輸入粗飼料の使用量を削減して飼料作付面積を拡大する酪農家を支援する。

表② 自給飼料の生産拡大	
◎自給飼料の生産拡大	171億円
○飼料増産総合対策事業	17億円
○飼料生産型酪農経営支援事業	70億円
○草地関連基盤整備<公共>（農業農村整備事業で実施）	85億円

三つ目の畜産・酪農経営安定対策（表③参照）では、畜種ごとの特性に応じて、畜産・酪農経営の安定を支援することにより、意欲ある生産者が経営を継続し、その発展に取り組める環境を整備する。主な事業としては、加工原料乳（脱脂粉乳・バター等向け及びチーズ向け生乳）の生産者補給金に所要額311億円を計上した。また、生産者団体が乳製品を製造し、適時に放出する取組や、不需要期の乳製品需要を創出する取組を支援する「国産乳製品供給安定対策事業」に5億円を予算要求した。

表③ 畜産・酪農経営安定対策の実施	
○加工原料乳生産者補給金	（所要額） 311億円
○国産乳製品供給安定対策事業	5億円
○飼料生産型酪農経営支援事業	70億円
○肉用子牛生産者補給金	（所要額） 213億円
○肉用牛繁殖経営支援事業	（所要額） 159億円
○肉用牛肥育経営安定特別対策事業	（所要額） 869億円
○養豚経営安定対策事業	（所要額） 100億円
○鶏卵生産者経営安定対策事業	52億円
◎肉用牛肥育経営維持安定緊急対応業務出資金【新規】	7億円